

ネットワーク長野県史料協

小布施町文書館の開館初年度をふりかえって

小布施町文書館 原田 知佳

1. 開館初年度の動き

小布施町では、平成25年4月1日に公文書管理条例および文書館の設置及び管理に関する条例を施行し、同月24日に小布施町文書館を開館しました。開館初年度は特定歴史公文書の移管準備と古文書の整理を進めるとともに、町民および役場職員への普及活動を中心に行いました。まず、特定歴史公文書の移管については、これまで統一的に公文書を管理してこなかったため、すぐに文書館へ移管することは難しく、条例施行以前の公文書については条例附則に経過措置が設けられ、公文書管理条例の例により必要な整備が終了したものについて適用するとされました。そこで、現在は所管グループ等において保存期間の見直し、保存期間満了時の措置の設定、目録の整備等を行っています。

そして、古文書については町内から3件の寄贈・寄託があると同時に、写真資料が2件寄託されました。これらのうち小布施史料調査会において目録が作成されている古文書から公開準備を進めており、現在は目録との突き合わせと内容の確認を行っています。

また一方で、町民および役場職員への普及活動も同時に進めてきました。小布施町文書館は町民の声を受けて開設されましたが、その認知度は低く、特に公文書の保存・利用等については十分に理解が得られていない状況にあります。そこで、史料への関心拡大と文書館の役割について知っていただくため、小布施史料調査会代表者と国立公文書館専門官による講演会を春・秋各1回ずつ開催しました。また、こちらから発信するのではなく、町民の声を直接聞いて今後の事業に活かすため、10月に「文書館サポーター」を設置し

ました。現在の登録者はまだ18名と少数ですが、会議では史料の現存状況と所蔵者の寄贈・寄託の希望等が報告され、次年度以降の収集計画に反映させていきたいと考えています。

2. 課題

条例施行以前の公文書の移管および調査済み古文書の公開は平成25年度中に行う予定でしたが、未だ実現できていません。これらは主に人員と時間が不足していることに起因しますが、特に公文書については職員が日々の業務に追われるなか、これらの事務が後回しとされている状況です。しかしながら、公文書管理は行政の全ての事務事業の基本であり、町民に対する説明責任を全うするためには欠くことのできないものであるため、職員各人が公文書管理条例の趣旨を理解し、実践できるよう、今後は所管グループと協力し、文書館も積極的に文書管理に関わって行く予定です。

折しも、今年是小布施町が都住村と合併し、現在の小布施町が誕生して60年を迎える記念の年となります。文書館は地域の核となるアーカイブズとして町政およびまちづくりの記録の保存・整備を進めるとともに、組織・町民がこれまでの施策を問い、新たな発展に活かせるよう、広くその記録・情報を発信していきたいと考えています。



閲覧室

文献史料保存活用講習会に参加して

松本市文書館 太田 弥保

平成25年度文献史料保存活用講習会は、文書の修補技術を重点的に習得する内容でした。日々の業務の中で、文書の修補はなかなか手を出せない分野です。特に、地域資料を中心とする和紙でできた文書は、それ1点そのものが、唯一無二のものであり、手を加えてしまうことによって、破損してしまうのではないかと懸念があります。しかし一方で、利用に耐えない、活用が難しいほど劣化しているものも少なくありません。今回の講習会では、手近にあるもの、低コストで導入できる物品を使用する簡易な補修を学びました。

最初に、修補で使用する麩糊を作りました。粉末状になっている糊は、水を加え、加熱することによって半固形になります。そこにさらに水を加え、とろみがある液体状になります。今回の実習では、電子レンジを使用することによって時間の短縮ができ、一度に使用する量が調節できるため、糊の無駄が生まれない方法を学ぶことができました。

次に、文書資料の修補について段階を追って説明を受けました。文書の修補は、「穴をうめる」作業や、「破れをつなぐ」作業のような「繕い」と、文書全体の強度を上げる「裏打ち」があります。どちらの修補も、作業に取りかかる前に本紙のクリーニングを行います。このとき、マイクロファイバーのクロスを使用するなど、身の回りの安価で購入できるもので、効果が得られることがわかりました。修補に使用する和紙は、本紙よりも薄く、馴染みやすいものを使用すること、修補の種類により、本紙にあわせる和紙の繊維の方向を変え、強度を上げることなどを学びました。文書の修補というと、「裏打ち」を中心に考えていたので、「繕い」のみであっても、だいぶ紙が補強され、利用に耐



える状態になることがわかりました。また、和紙で作られた史料だけでなく、洋紙で作られた史料にも、和紙での修補が有効であり、海外の公文書館で日本の和紙が使用されている現状を知ることができました。

実習の中で感じたのは、日々の業務のなかで取り組める範囲を探していくことが重要であるということです。今回、ご教授いただいた修補作業は、やり直しのできるものばかりでした。「修補」「修復」という言葉に怖気づくことなく、挑戦してくことを心掛けたいと思いました。

また、実習のなかで、他自治体の職員の方々と言葉を交わしながら作業できたことが、大変心強く感じました。次の作業手順が分からなくなってしまうときでも、隣の方と確認し合い、作業をすすめることができました。実際の業務の中で修補作業を行うときも、複数人で協力し合いながら行うのが良いと感じました。

最後に講師の中嶋先生から、「身の回りの道具で、できることから始めてください」という主旨のお話がありました。日々増えていく収蔵資料と向き合うなかで、欠くことのできない課題であると感じました。

長野県史料保存活用連絡協議会名簿 (機関会員のみ掲載)

会 員 名	郵便番号	会 員 住 所	電話番号
長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代清水260-6	026-274-2000
小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114
坂城町教育委員会文化財センター	389-0602	坂城町坂城6362-1	0268-82-1109
南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007
長野市公文書館(城山分室)	380-0801	長野市箱清水1-3-8	026-232-8050
(公益財団法人)八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511
須坂市市民共創部生涯学習スポーツ課文化財係	382-0081	須坂市横町1528-1	026-248-9027
長野郷土史研究会	380-0905	長野市七瀬南部14-7	026-224-2673
(財)田中本家博物館	380-0085	須坂市穀町476	026-248-8008
辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央1番地	0266-41-1681
諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地2	0266-52-7080
飯田市歴史研究所	395-0002	飯田市上郷飯沼3145	0265-53-4670
飯綱町教育委員会	389-1293	飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-2511
箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860
阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町2333-1	0260-22-2270
飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111
宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314
松本市文書館	390-1242	松本市和田1058-2	0263-47-0040
信濃町教育委員会	389-1392	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923
上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-47	0268-22-0880
松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1 真田宝物館	026-278-2801
(有)山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353
南木曾町博物館	399-5302	木曾郡南木曾町吾妻2190	0264-57-3322
大町市教育委員会	398-8601	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760
中野市教育委員会事務局生涯学習課	389-2101	中野市大字豊津2508	0269-38-3112
中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005
軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466
千曲市教育委員会生涯学習文化課文化財係	389-0892	千曲市桜堂268番地	026-261-3210
佐久市教育委員会生涯学習課	385-0043	佐久市取出183 佐久市生涯学習センター内	0267-62-0664
茅野市八ヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300
伊那市教育委員会高遠長谷教育振興課文化財係	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806番地	0265-94-2551
長和町教育委員会	386-0602	長和町長久保455	0268-68-2127

会員の来年度の活動

※事務局にお寄せいただいた史料保存活用に関する行事予定を掲載

飯田市歴史研究所

第12回飯田市地域史研究集会「記憶と経験を語り継ぐこと」～地域遺産としての「口述資料」～

期日：平成26年8月23日(土)・24日(日) 会場：飯田信用金庫本店会議室(予定)

問い合わせ：飯田市歴史研究所 電話 0265-53-4670

真田宝物館

企画展「襖に眠る古文書たち—松代文化財ボランティアの会による—」

期日：平成26年12月10日(水)～平成27年3月2日(月) 会場：真田宝物館

問い合わせ：松代文化施設等管理事務所 電話 026-278-2801

長野県史料協 平成25年度行事記録

平成25年6月26日（水） 上田市立上田図書館

◇第1回理事会

◇総会

◇第1回文献史料保存活用講習会

演題 地方自治体における公文書管理と歴史資料の保存利用について

講師 藤沢市文書館 榎原直樹氏

◇視察 清蘭堂

平成25年10月24日（木）・25日（金）

長野県立歴史館

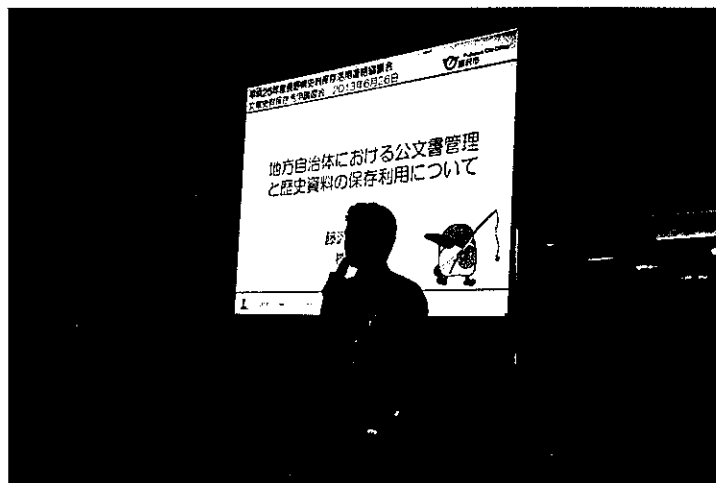
◇第2回文献史料保存活用講習会

独立行政法人国立公文書館

中島郁子氏・阿久津智広氏・

佐々木美由実氏

◇第2回理事会（25日）

**平成26年度長野県史料協行事予定（変更することがあります）**

◇6月25日（水） 総会・第1回文献史料保存活用講習会

◇10月24日（金） 第2回文献史料保存活用講習会

事務局より

本号では今年度開館しました小布施町文書館の活動と課題について寄稿していただきました。来年度には松本市文書館が装いも新たに移転開館する予定です。また会員の皆様からのお声もあり、機関会員の名簿と、お寄せいただいた各会員の活動予定を掲載いたしました。当会でも史料保存活用に関する情報を会員間で共有していきたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましてもより積極的に情報をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 fax 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp